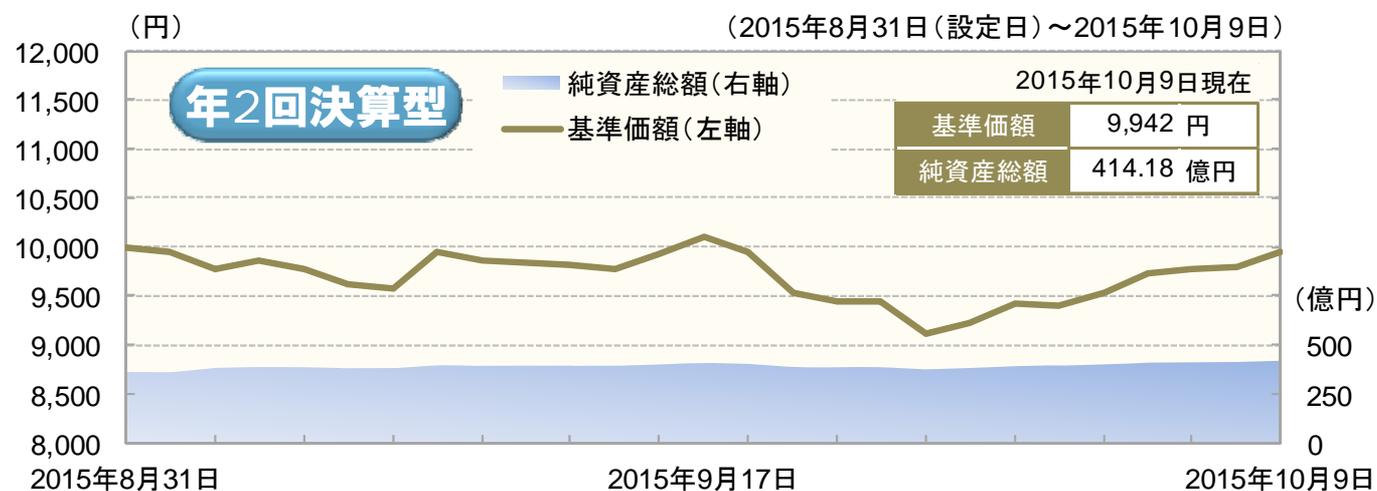
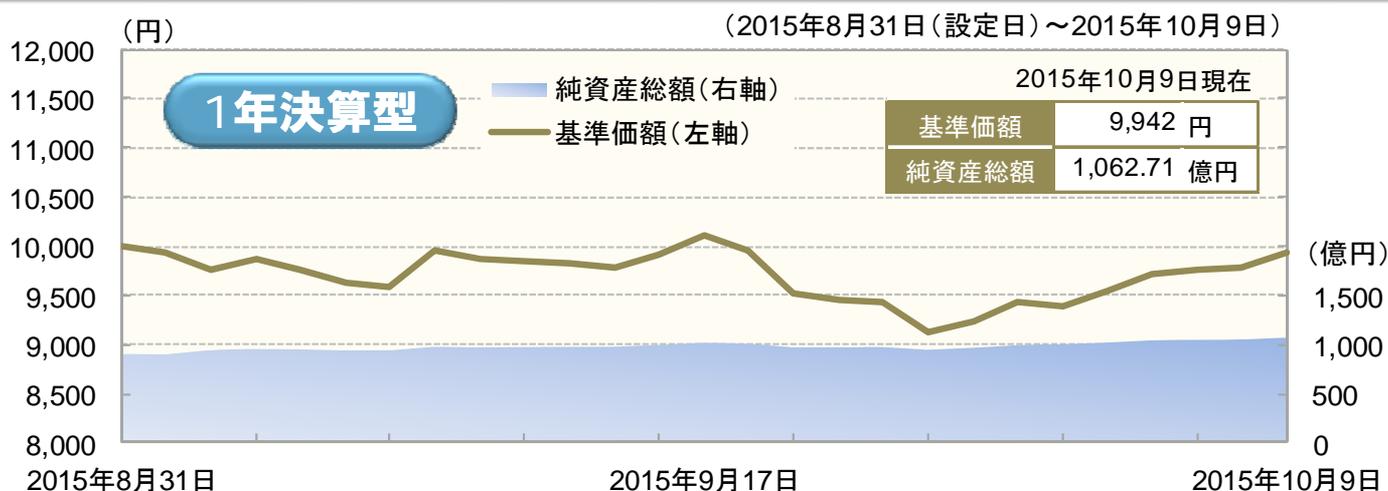


グローバル・ロボティクス株式ファンド (1年決算型)/(年2回決算型)

足元の株式市場に対する見解と 組入上位銘柄についてのご紹介

「グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)/(年2回決算型)」は、2015年8月31日に運用を開始いたしました。本資料では、当ファンドの投資顧問会社であるラザード・アセット・マネージメント・エルエルシー(以下、ラザード社)の足元の株式市場に対する見解と、2015年9月末現在の組入上位銘柄について、マンスリーレポートの補足資料としてご紹介いたします。

基準価額と純資産総額の推移



※基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の1万口当たりの値です。

※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

運用チームからのメッセージ①



チャーズ・ガイザー
シニア・ヴァイス・プレジデント、
ポートフォリオマネージャー
／アナリスト

- ✓世界の株式市場は、中国の景気減速懸念などを背景にリスク回避姿勢が強まり、軟調に推移しています。しかしながら、先進国の景気は底堅く、各国の緩和的な金融政策などもあり、本格的な調整局面入りは避けられると考えられます。
- ✓企業利益が引き続き堅調であることが認識されてくれば、株価の上昇が見込まれるため、足元の調整局面は弱気相場の始まりではなく、強気相場の中での調整局面であると考えています。



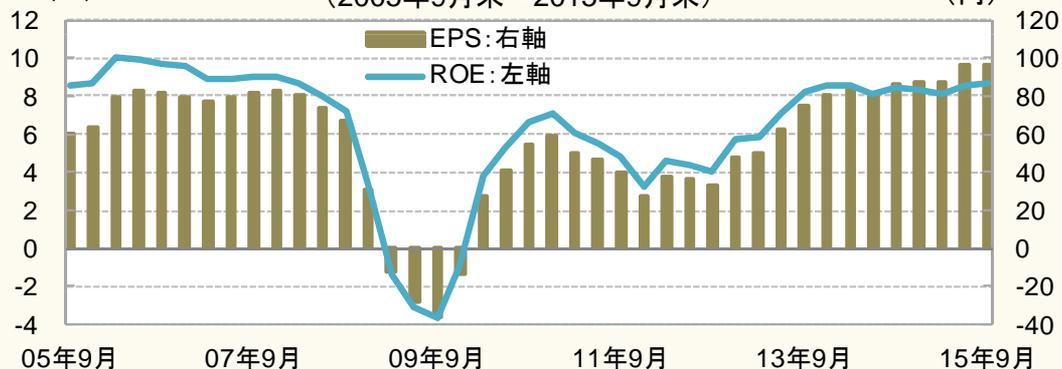
構造改革の成否が長期的な見通しの鍵、 達成すれば大きなアップサイドが期待される

- 日本の株式市場は、特に円高の進行と日本企業の中国向け輸出の動向に懸念が高まったことなどから弱含む展開となりました。
- 今後の日本経済の成長のためには、構造改革の成否がポイントになるとみられます。中でも、デフレから脱却し、本格的な物価上昇を達成することが喫緊の課題であり、そのためには賃金の上昇が必要と考えています。道のは決して平坦ではないものの、この構造改革が達成出来れば、調整局面を越えての株価の上昇が期待されます。
- また、日本版スチュワードシップ・コードと、上場企業が守るべき行動規範を示したコーポレートガバナンス・コードが整備され、実効的なコーポレートガバナンスを実現するための「車の両輪」が揃ったことは、今後の日本株式に対してポジティブであると考えています。

企業業績は堅調で過去最高益に

【TOPIXのROE(自己資本利益率)とEPS(1株当たり純利益)の推移】

(%) (2005年9月末～2015年9月末) (円)



堅調な企業業績に加え、日本版スチュワードシップ・コードやコーポレートガバナンス・コードの導入により、ROEについても今後の上昇が期待されます

(信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成)

※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

上記は、「グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)/(年2回決算型)」の投資顧問会社であるラザード社からのコメントをもとに、日興アセットマネジメントが作成したものです。当コメントは、資料作成時点における市場環境もしくは今後の運用方針等について、運用担当者の見方あるいは考え方などを記載したものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。また、運用方針は変更される場合があります。

当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

運用チームからのメッセージ②



米国株式は軟調に推移するも、 米国経済のファンダメンタルズは引き続き堅調

- 米国の株式市場は、中国の景気減速懸念などから、軟調に推移していますが、米国経済のファンダメンタルズは引き続き堅調との見方を維持しています。
- 昨年からの原油安は、米国のエネルギー関連企業にとってマイナス要因となりますが、消費者に与えるプラス効果を考えると、経済全体ではポジティブであると考えています。利上げについても、FRB(米連邦準備制度理事会)が想定以上にタカ派的な金融政策を実施しない限り、株価への影響は限定的であるとみています。
- 足元の株価は、金融危機以降の高値を上回る水準にあります。過去の株価ピーク時とのバリュエーションを比較してみると、割高な水準ではないと考えています。

過去のピーク時と比較して米国企業のファンダメンタルズは良好

【S&P500指数の推移】

(1995年9月30日～2015年9月30日)



【過去のS&P500指数の株価ピーク時との比較】

	2000年 3月24日	2007年 10月9日	2015年 9月30日
S&P500指数	1,527	1,565	1,920
PER	30.6	17.6	17.0
フリーキャッシュ フロー利回り	2.7 %	1.0 %	5.5 %
純負債/EBITDA	3.9	4.6	1.9
総負債/株主資本	206.0	235.5	108.9
米国10国債利回り	6.1 %	4.6 %	2.0 %

過去の株価ピーク時と比較して、
企業の負債比率やキャッシュフロー水準も良好

(信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成)



ギリシャ支援合意を背景に 回復期待の大きい企業業績と量的緩和が株価上昇を後押し

- 欧州の株式市場は、世界的に不安定なマクロ環境の影響を受けたものの、ギリシャへの金融支援が合意に達したことなどのプラス要因が、個人消費と株式市場を下支えしていると考えています。
- 欧州企業は2008年の世界金融危機前の状況に鑑みると、他の地域よりも業績回復の上昇余地は大きいと考えていますが、このことは足元の株価には織り込まれていないとみられます。欧州株式はQE(量的金融緩和策)と企業業績の回復がけん引役となって、堅調に推移すると見込んでいます。

※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

上記は、「グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)/(年2回決算型)」の投資顧問会社であるラザード社からのコメントをもとに、日興アセットマネジメントが作成したものです。当コメントは、資料作成時点における市場環境もしくは今後の運用方針等について、運用担当者の方見方あるいは考え方などを記載したものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。また、運用方針は変更される場合があります。

当資料は、投資者の皆様へ「グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)/(年2回決算型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

運用チームからのメッセージ③



中長期的にロボティクス関連市場は拡大する見通し。経済見通しに不透明感が台頭した局面では工場自動化が加速する可能性も

- 世界的に株価が軟調に推移するなか、ロボティクス関連銘柄では、中国の景気減速懸念などを背景に産業ロボット関連が弱含みしました。しかしながら、FA(ファクトリーオートメーション:工場自動化)の拡大基調に変化はなく、短期的な停滞はあると考えられるものの、中長期的にロボティクス関連市場が拡大していくとの見方に変更はありません。
- むしろ、景気減速懸念が台頭する局面ではFAが加速する可能性があります。これは、需要の減少懸念が高まると、企業の効率化に対する意識が高まり、自動化が進むと考えられるからです。

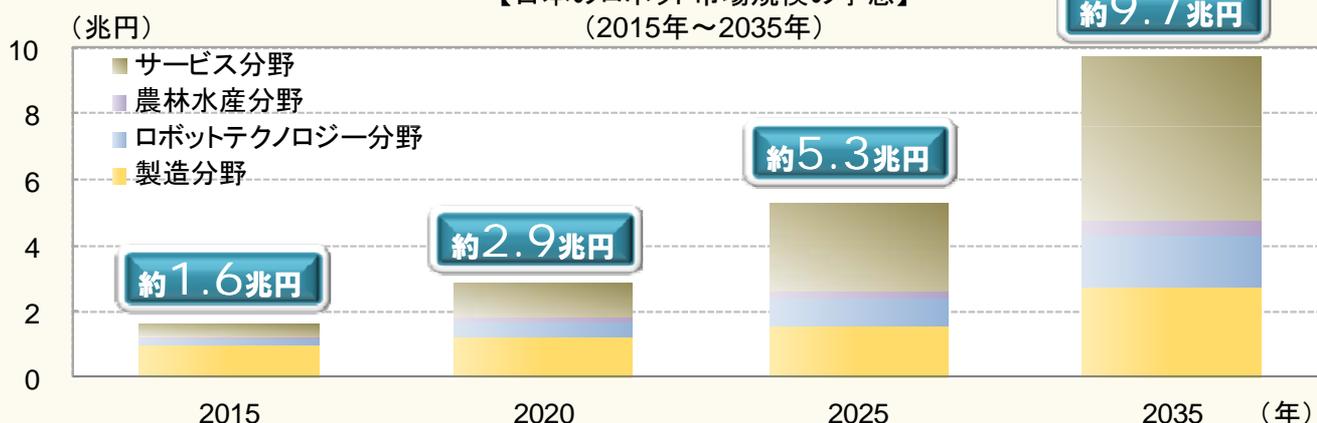
株価下落でバリュエーション面に相対的な割安感も。

ラザード社の強みを活かし、高成長が期待される銘柄に厳選投資

- 足元の株価下落によってロボティクス関連銘柄には、相対的に割安と考えられる銘柄が見受けられます。中長期的な成長見通しに変更はないことから、足元の株価下落は新たな投資機会と捉えています。
- 今後も、ラザード社の強みであるボトムアップアプローチを行ない、ロボティクス関連企業の中でも高い成長が見込まれる銘柄に投資する方針です。

ご参考:日本のロボット市場は急速に拡大する見込み

【日本のロボット市場規模の予想】
(2015年～2035年)



NEDO(新エネルギー・産業技術総合開発機構)の資料をもとに日興アセットマネジメントが作成

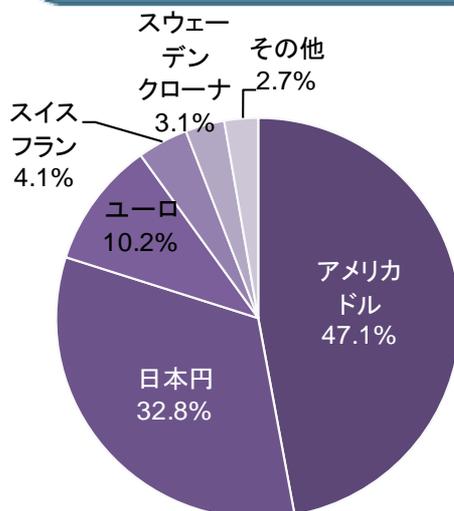
※上記グラフ・データは予想であり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

上記は、「グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)/(年2回決算型)」の投資顧問会社であるラザード社からのコメントをもとに、日興アセットマネジメントが作成したものです。当コメントは、資料作成時点における市場環境もしくは今後の運用方針等について、運用担当者の見方あるいは考え方などを記載したものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。また、運用方針は変更される場合があります。

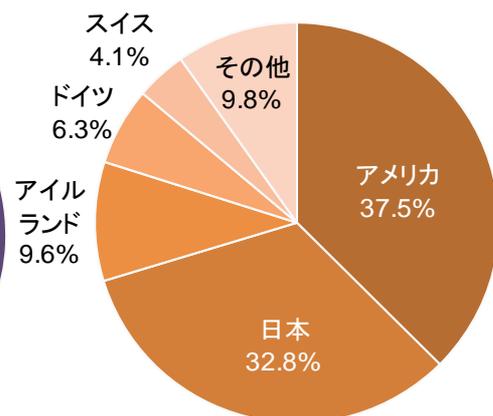
当資料は、投資者の皆様へ「グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)/(年2回決算型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

ポートフォリオの概要（2015年9月末現在）

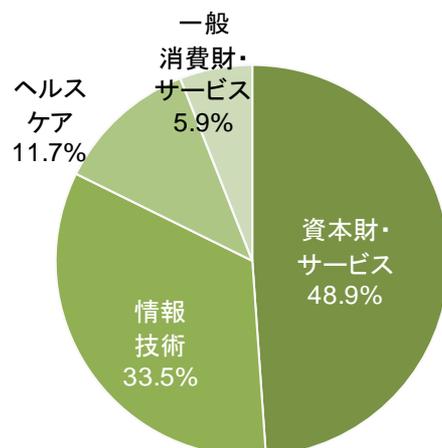
通貨別比率



国別比率



業種別比率



組入上位10銘柄(組入銘柄数:35銘柄)

順位	銘柄	国名	業種	比率	本資料でのご紹介
1	ファナック	日本	資本財・サービス	6.1%	★
2	ROCKWELL AUTOMATION INC ロックウェル・オートメーション	アメリカ	資本財・サービス	6.1%	★
3	キーエンス	日本	情報技術	5.7%	★
4	THERMO FISHER SCIENTIFIC INC サーモ・フィッシャー・サイエンティフィック	アメリカ	ヘルスケア	5.3%	★
5	GOOGLE INC-CL C グーグル	アメリカ	情報技術	5.3%	★
6	HONEYWELL INTERNATIONAL INC ハネウェル・インターナショナル	アメリカ	資本財・サービス	5.2%	
7	PARKER HANNIFIN CORP パーカー・ハネフィン	アメリカ	資本財・サービス	5.1%	
8	EATON CORP PLC イートン	アイルランド	資本財・サービス	5.0%	
9	日立製作所	日本	情報技術	4.9%	
10	ABB LTD-REG A B B	スイス	資本財・サービス	4.1%	

※上記の各数値はグローバル・ロボティクス株式マザーファンドの状況で、組入株式時価総額比です。各比率は四捨五入により合計が100%とならない場合があります。

※「組入上位10銘柄」は、個別銘柄の取引を推奨するものでも、将来の組入れを保証するものでもありません。

※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様にご理解を促す目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。



ファナック

日本



<セクター>
資本財・サービス

<株価>
18,315円

<時価総額>
3.7兆円

<ラザード社の着目ポイント> FA(ファクトリーオートメーション: 工場自動化)の本命

- 世界的に有名なFA機器メーカー。
- 2015年7月に業績の下方修正を発表して株価が下落したものの、これは一過性の要因であると見ており、工場自動化に欠かせないNC装置*で世界シェア約50%を誇る同社の競争力は依然として高いと考えられます。*工作機械などに対して指令を与える装置
- 世界的なFA推進の恩恵を享受できると考えていることや、利益拡大と株価下落によってバリュエーション(PER)が過去10年間で見て割安圏にある点などに着目しています。

利益拡大や株価の下落などを背景に バリュエーションは過去10年間で見て割安圏に

【EPS(1株当たり利益)とPER(株価収益率)の推移】
(円) 2005年9月末~2015年9月末 (倍)



ロックウェル・オートメーション

米国



<セクター>
資本財・サービス

<株価>
101.47米ドル

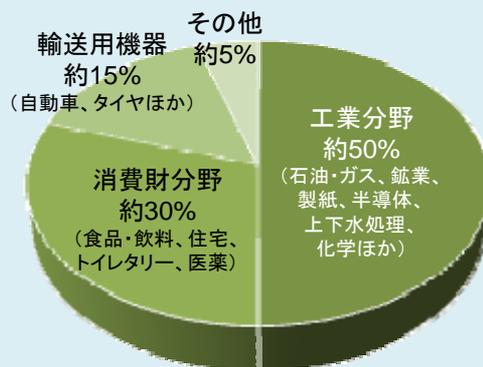
<時価総額>
1.6兆円

<ラザード社の着目ポイント> 幅広い分野のオートメーション化を取り込む

- FA分野において機器だけでなくソフトウェアやシステム、セキュリティなどを組み合わせたトータルソリューションを提供。
- オートメーション化は自動車やエレクトロニクスなどの製造業で先行して進んできましたが、今後、新興国での賃金上昇などを背景に様々な分野でオートメーション化が進展すると考えられます。
- 同社は特定の顧客に偏らず全世界で幅広い事業領域をカバーしていることから、今後、オートメーション化の分野が拡大していく中、その恩恵を幅広く享受できる可能性に着目しています。

幅広い分野でのオートメーション化が 取り込み可能な事業ポートフォリオ

【エンドユーザー別売上構成比】
2014年度



各種資料をもとに日興アセットマネジメントが作成
※株価、時価総額ともに2015年9月末時点、時価総額の円換算レート:1米ドル=119.88円(2015年9月末時点)
※セクター名は世界産業分類基準(GICS)の10分類に基づきます。

上記は、情報提供を目的として2015年9月末時点の当ファンドのマザーファンドの組入上位銘柄について、ラザード社からのコメントをもとに、日興アセットマネジメントが作成したものです。上記銘柄について、組入れを約束するものでも、売買を推奨するものでもありません。また、上記見解は過去のものであり、記載銘柄の将来の価格の上昇や、運用成果などを約束するものではありません。

※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様へ「グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)/(年2回決算型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。



キーエンス

日本



<セクター>
情報技術

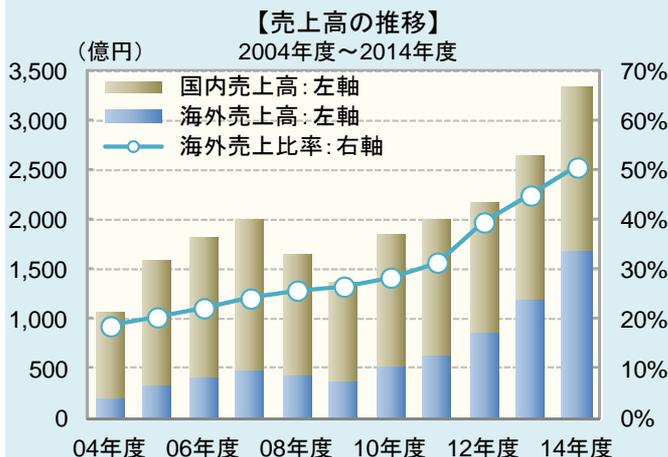
<株価>
53,200円

<時価総額>
3.2兆円

<ラザード社の着目ポイント> ロボティクス関連事業のキーとなる センサーの需要拡大

- FAをはじめとするオートメーション化において必要不可欠なパーツであるセンサーを主力とするメーカー。
- 同社はセンサーを「単品売り」するのではなく、顧客へ「コンサルティングサービス」を併せて提供することで付加価値を創出しています。さらに近年、海外展開を積極化させており海外売上比率は50%超にまで上昇しました。
- ロボティクス関連事業のあらゆる場面で重要な役割を果たすセンサーの需要拡大と、成長期待が高い海外ビジネスの動向に着目しています。

海外売上高比率は年々上昇しており、14年度は50%超に



サーモ・フィッシャー・サイエンティフィック

米国



<セクター>
ヘルスケア

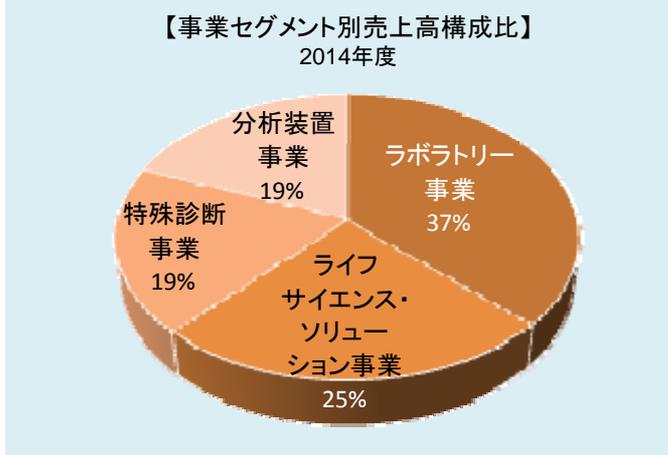
<株価>
122.28米ドル

<時価総額>
5.8兆円

<ラザード社の着目ポイント> LA(ラボラトリーオートメーション)の拡大

- 研究機関や医薬品メーカー向けに研究機器、試薬、LAなどを提供する世界最大級の総合科学サービス企業。
- 同社はロボットやコンピューターを利用して研究開発の作業を効率化するLAに注力しています。医薬研究開発費が増大する中、研究開発の効率化は製薬会社にとって不可避な課題となっており、LAに対するニーズは高まっています。
- 医薬研究の効率化は今後も進むことが予想されており、LA拡大の恩恵を同社が享受できると期待されます。

ニーズの高まるLA事業に注力し、さらなる飛躍を目指す



各種資料をもとに日興アセットマネジメントが作成
 ※株価、時価総額ともに2015年9月末時点、時価総額の円換算レート:1米ドル=119.88円(2015年9月末時点)
 ※セクター名は世界産業分類基準(GICS)の10分類に基づきます。

上記は、情報提供を目的として2015年9月末時点の当ファンドのマザーファンドの組入上位銘柄について、ラザード社からのコメントをもとに、日興アセットマネジメントが作成したものです。上記銘柄について、組入れを約束するものでも、売買を推奨するものでもありません。また、上記見解は過去のものであり、記載銘柄の将来の価格の上昇や、運用成果などを約束するものではありません。

※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様にご理解を促す「グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)/(年2回決算型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。



グーグル

米国 	<セクター> 情報技術	<株価> 608.42米ドル	<時価総額> 51.1兆円
--------	----------------	-------------------	------------------

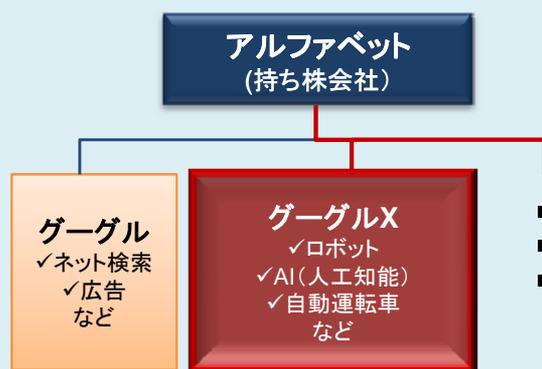
<ラザード社の着目ポイント>

第4次産業革命での勝ち組を目指す

- 国際的なウェブベースのサーチエンジン・プロバイダー。
- 2015年8月に持ち株会社「アルファベット」を新たに設立し、会社を主力の「ネット検索・広告事業」や、ロボットやAI(人工知能)などに取り組む「ベンチャー事業」などに分社化するという、経営組織の大幅な再編を発表しました。
- 第3次産業革命(インターネット革命)の勝ち組である同社の今回の組織再編は、時代が第4次産業革命(ロボティクス革命)に移行しつつあることを象徴するイベントと見ています。今後、ロボットや自動運転車などの高成長が見込まれるベンチャー事業の立ち上がりに着目しています。

持ち株会社を設立し、分社化によりロボティクス関連事業へ本格的に注力

【新会社「アルファベット」の体制図】



各種資料をもとに日興アセットマネジメントが作成
 ※株価、時価総額ともに2015年9月末時点、時価総額の円換算レート:1米ドル=119.88円(2015年9月末時点)
 ※セクター名は世界産業分類基準(GICS)の10分類に基づきます。

上記は、情報提供を目的として2015年9月末時点の当ファンドのマザーファンドの組入上位銘柄について、ラザード社からのコメントをもとに、日興アセットマネジメントが作成したものです。上記銘柄について、組入れを約束するものでも、売買を推奨するものでもありません。また、上記見解は過去のものであり、記載銘柄の将来の価格の上昇や、運用成果などを約束するものではありません。

※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

お申込みに際しての留意事項①

■リスク情報

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様
に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】

株式の価格は、会社の成長性や収益性の企業情報および当該情報の変化に影響を受けて変動します。また、国内および海外の経済・政治情勢などの影響を受けて変動します。ファンドにおいては、株式の価格変動または流動性の予想外の変動があった場合、重大な損失が生じるリスクがあります。

【流動性リスク】

市場規模や取引量が少ない状況においては、有価証券の取得、売却時の売買価格は取引量の大きさに影響を受け、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないリスク、評価価格どおりに売却できないリスク、あるいは、価格の高低に関わらず取引量が限られてしまうリスクがあり、その結果、不測の損失を被るリスクがあります。

【信用リスク】

投資した企業の経営などに直接・間接を問わず重大な危機が生じた場合には、ファンドにも重大な損失が生じるリスクがあります。デフォルト(債務不履行)や企業倒産の懸念から、発行体の株式などの価格は大きく下落(価格がゼロになることもあります。)し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。

【為替変動リスク】

外貨建資産については、一般に外国為替相場が当該資産の通貨に対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。

【有価証券の貸付などにおけるリスク】

有価証券の貸付行為などにおいては、取引相手先リスク(取引の相手方の倒産などにより貸付契約が不履行になったり、契約が解除されたりするリスク)を伴ない、その結果、不測の損失を被るリスクがあります。貸付契約が不履行や契約解除の事態を受けて、貸付契約に基づく担保金を用いて清算手続きを行なう場合においても、買戻しを行なう際に、市場の時価変動などにより調達コストが担保金を上回る可能性もあり、不足金額をファンドが負担することにより、その結果ファンドに損害が発生する恐れがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

(次頁に続きます)

お申込みに際しての留意事項②

(前頁より続きます)

■その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様にご理解を高めることを目的として日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

ファンドの特色

1. 世界各国の株式の中から主にロボティクス関連企業の株式に投資を行ないます。
2. 銘柄選定は、株式のアクティブ運用に注力するラザード社が、徹底した調査に基づき行ないます。
3. (1年決算型) 年1回、決算を行ないます。
(年2回決算型) 年2回、決算を行ないます。
基準価額水準が1万円(1万口当たり)を超えている場合には、
分配対象額の範囲内で積極的に分配を行ないます。

※分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合もあります。

市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。

お申込メモ

商品分類	追加型投信／内外／株式
ご購入単位	購入単位につきましては、販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせください。
ご購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
ご購入不可日	購入申込日がニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークの銀行休業日に該当する場合は、購入のお申込みの受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
信託期間	2025年7月22日まで(2015年8月31日設定)
決算日	【1年決算型】毎年7月20日(休業日の場合は翌営業日) 【年2回決算型】毎年1月20日、7月20日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	毎決算時に、分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。 ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
ご換金価額	換金請求受付日の翌営業日の基準価額
ご換金不可日	換金請求日がニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークの銀行休業日に当たる場合は、換金請求の受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
ご換金代金のお支払い	原則として、換金請求受付日から起算して6営業日目からお支払いします。
課税関係	原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の差益は課税の対象となります。 ※課税上は、株式投資信託として取り扱われます。 ※公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。 ※配当控除の適用はありません。 ※益金不算入制度は適用されません。

手数料等の概要

お客様には、以下の費用をご負担いただきます。

<お申込時、ご換金時にご負担いただく費用>

購入時手数料	購入時手数料率(スイッチングの際の購入時手数料率を含みます。)は、 <u>3.78%(税抜3.5%)</u> を上限として販売会社が定める率とします。 ※分配金再投資コースの場合、収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。
換金手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。

※販売会社によっては、一部のファンドのみの取扱いとなる場合やスイッチングが行なえない場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

信託報酬	純資産総額に対して年率1.9008%(税抜1.76%)を乗じて得た額
その他費用	目論見書などの作成・交付および計理等の業務にかかる費用(業務委託する場合の委託費用を含みます。)、監査費用などについては、 <u>ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額</u> が信託財産から支払われます。 組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息、立替金の利息および貸付有価証券関連報酬(有価証券の貸付を行なった場合は、信託財産の収益となる品貸料に0.54(税抜0.5)を乗じて得た額)などについては、その都度、信託財産から支払われます。 ※組入有価証券の売買委託手数料などは、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことはできません。

※当ファンドの手数料などの合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することはできません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

委託会社、その他関係法人

委託会社	日興アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号 加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、 日本証券業協会
投資顧問会社	ラザード・アセット・マネージメント・エルエルシー
受託会社	三井住友信託銀行株式会社 (再信託受託会社:日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社)
販売会社	販売会社については下記にお問い合わせください。 日興アセットマネジメント株式会社 [ホームページ]http://www.nikkoam.com/ [コールセンター]0120-25-1404(午前9時~午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会				
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	
藍澤証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第6号	○	○		
岩井コスモ証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第15号	○		○	
エイチ・エス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第35号	○		○	
エース証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第6号	○			
SMBC日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
岡地証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第5号	○			
第四証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第128号	○			
高木証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第20号	○			
東洋証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第121号	○			
野村証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第142号	○	○	○	○
丸三証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第167号	○			
丸八証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第20号	○			
明和証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第185号	○			
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○		○	○

(50音順、当資料作成日現在)